

## 平成27年度第1回我孫子市健康福祉総合計画推進協議会 会議概要

(1) 会議の名称	平成27年度第1回我孫子市健康福祉総合計画推進協議会							
(2) 開催日時	平成27年8月27日 午後2時から午後3時30分まで							
(3) 開催場所	議会棟 第1委員会室							
(4) 出席又は 欠席した委員 その他会議に 出席した者の 氏名  (傍聴人を 除く)  出：出席 欠：欠席	委 員（市職員以外）							
	出	吉武 民樹	出	鈴木 孝	出	今井 厚子	出	飯沼 トミ子
	出	土井 紀弘	出	小川 英郎	出	渡邊 慎	出	田中 純男
	出	入野 勢津子	出	成嶋 美代子	出	古野 民世	欠	後藤 晋作
	事務局その他市職員の出席者							
	健康福祉部							
	社会福祉課			渡辺次長、山田課長補佐、鈴木、斉藤、草野、野村				
	高齢者支援課			丸山主幹、海老原課長補佐				
	障害福祉支援課			菊地課長補佐、小池課長補佐、金子所長				
	健康づくり支援課			谷次課長補佐				
国保年金課			磯岡主幹					
子ども部								
子ども支援課			廣瀬主幹					
保育課			星主幹					
子ども相談課			三澤主幹、広瀬所長					
(5) 議題	(1) 第4次健康福祉総合計画 平成26年度主要事業の実績報告について (2) 第5次健康福祉総合計画 平成27年度主要事業の取り組みについて							
(6) 公開・非公開の別	公開							
(7) 傍聴人の数 (会議を公開した場合)	傍聴人の数	0人						

### (8) 会議の内容【概要】

(1) 第4次健康福祉総合計画 平成26年度主要事業の実績報告について	
発言者	内 容
○社会福祉課長挨拶	
各課より説明	資料1に沿って説明。

健康づくり支援課	<p>○妊婦健康診査 この事業は母体の変化が著しい妊娠期の健康管理に必要な健診費用を助成するというもの。県内医療機関と助産院で実施する妊婦健康診査の14回分を助成しています。里帰り先で受診票を利用できない方には、個別に償還払いを行いました。平成26年度は延べ9,898件を助成いたしました。償還払いは181件でした。</p> <p>○国民健康保険加入者の特定健康診査・特定保健指導 この事業は40歳から74歳までの国保加入者に対し、内臓脂肪型肥満に着目した健診や、生活習慣を改善する保健指導を行い、糖尿病及びその予備軍を減少させることを目的とする事業でございます。昨年度は2万7,075通の受診券を発送し、7,409人の受診者がありました。また、生活保護を受給している方にも787通の受診券を発送し、89人の受診者がありました。</p> <p>○我孫子市脳ドック この事業は認知症、脳血管障害を早期に発見し、健康寿命の延伸を図るため、市内の委託病院で検査を行った方に1万円までの助成を行うものです。25年度対象者については、26年9月まで実施期間を延長いたしました。その結果、104人の受診者がありました。26年度対象の受診者数は989人でした。</p> <p>○休日診療所の運営 この事業は休日・祝日及び年末年始の昼間の急病患者に対応するため、休日診療所を開設するという事業でございます。26年度は72日間開所し、医科3,758人、歯科171人が受診いたしました。</p> <p>○フッ化物洗口事業 この事業は幼児の虫歯を予防し、歯科保健に対する意識の向上を図ることを目的とする事業で、市内の保育園・幼稚園でフッ素洗口液でのうがいを行っております。実施園は12園でした。</p> <p>○予防接種事業（乳幼児）及び予防接種事業（小中高生） この事業は感染症から子どもの健康を守るため、乳幼児や小中高生に定期的に予防接種を実施する事業です。昨年度、小児にはヒブワクチン、小児用肺炎球菌、BCG、DPT-I PV、これは百日せき・ジフテリア・破傷風・不活性化ポリオ混合ワクチンというワクチンでございます、などの接種を行いました。また、小中高生にはDT、これはジフテリア・破傷風混合ワクチンでございます、それと日本脳炎、子宮頸がん予防ワクチンの接種を行いました。接者数・接種率は記載のとおりでございます。</p>
高齢者支援課	<p>○地域包括支援センターの充実 こちらは介護保険上、地域包括支援センターという名称になっておりますけれども、我孫子市の場合、市民の方に親しみやすい名称ということで、高齢者なんでも相談室という名称で事業を行っております。現在、各相談室では高齢者やその家族からのさまざまな相談に応じ、サービスにつなぐ支援などを展開しております。相談件数等は記載のとおりでございます。</p> <p>○定員30人以上の特別養護老人ホームの新設整備 こちらにつきましては、平成24年から26年までの第6期介護保険事業計画に位置づけました特別養護老人ホーム、定員100名の整備を行いました。27年1月に竣工を迎え、27年4月から開設しております。現在100名の方が入所されております。</p>

○障害者自立支援給付事業

平成26年度実績として、ホームヘルプサービス利用者実利用の人数、137人から193人、短期入所につきましては39人から58人、グループホーム利用者につきましては89人から126人と、全体的に利用者数としてはふえております。

通所系利用者実人数224人となっているんですが、こちらの数は入所系グループホームの施設に入所していない方の人数になっております。こちらは、入所施設とグループホームを利用している方を含めると382人になります。平成26年度の実績としては466人となっておりますので、こちらのほう、非常に利用されている方の人数がふえております。

こちらにつきましては、それぞれの施設の整備が充実したこと、それから、後ほど事業として説明させていただきますが、相談事業の充実を進めたことによりまして、障害のある方たちが利用する施設とか、いろんなサービスの利用が非常にふえたということになっています。

○障害者一時支援事業

平成26年度の実績が25年度の実績295人に対しまして196人と、約100人近く減っております。こちらは法律上の一時支援事業の児童の部分放課後等デイサービスという事業に移行しまして、こちらのほうに移行した事業所が数多くありましたので、児童、子どもの分が減りましたので、数字上は100人ほど減ったようになっておりますが、実態としては、やや増加傾向にあるということになっております。

○障害福祉サービス相談支援事業

平成25年度から民間のほうに委託しております障害者まちかど相談室が、平成25年度の年度の途中から順次開設がされております。26年度につきましては、4月当初からまちかど相談室が開設しておりますので、こちらの実績の数字のほう、委託相談支援事業所の実績の部分が非常に件数としては多くなっております。そして、相談件数として上の半分、基幹相談支援センターと書いてありますが、こちらは市役所の障害福祉支援課での相談件数になるんですが、民間での相談件数がふえれば市役所の相談件数が減るかなと思われるところなんですが、実態としては、やや増加傾向にあるという結果になっております。

○障害者支援施設の整備充実

平成26年度の実績の欄、こちらは平成26年度は実績なしと記載されておりますが、実態としましては、平成27年度から、これまで地域活動支援センターとして運用してきた事業所が、就労継続支援B型の事業に移行するための準備を26年度は実施しております。就労継続支援B型に移行することによりまして、施設そのものの充実、それから人員の充実、双方が充実することによりまして、そちらを利用している方々の支援が充実するということを目的として、実施しております。

○グループホーム、ケアホームの整備・運営支援

平成26年度の実績の欄でございますが、平成26年度は特定非営利活動法人i & i、こちらのグループホームファルベが定員6名で開設されました。それから、社会福祉法人アコモードでもグループホームアヴァンセ、定員10人のグループホームが2棟できましたので、これで新規のグループホームの定員が合計で26人分確保されましたので、その分グループホームを利用される方が増加しているということがございます。

<p>障害者福祉センター あらき園</p>	<p>○障害者福祉センター訓練事業 26年度の実績を申し上げますと、自立訓練、社会適応訓練、介護方法の指導、給食サービス等を実施いたしました。延べ実施回数が444回、延べ参加人数が3,247名でした。</p> <p>○基幹機能強化事業 26年度の実績では、障害者やその家族、障害者施設の支援として、訪問リハビリテーション、外出訓練、通所外訓練、専門職員派遣を行いました。訪問リハビリテーションの延べ人数は30人、外出訓練が延べ人数で1名、通所外訓練で延べ人数が125人、専門職派遣で延べ人数が15人という実績でありました。</p> <p>○障害者への支援拡大 26年度の実績を申し上げますと、25年度から民間障害福祉事業所への専門職員の派遣を実施しました。研修や相談などの技術的助言を行いました。民間障害福祉事業所への技術的援助（相談及び研修等）で、29回の実績がありました。</p> <p>○あらき園利用者支援 26年度の実績を申し上げますと、生活介護事業所として利用者が自立した日常生活、社会生活を営むため、個別支援計画に基づいた利用者支援を実施しました。あらき園支援提供日数が235日、1日の平均利用者数が69.5人でした。</p>
<p>国保年金課</p>	<p>○高齢者の肺炎球菌予防接種事業 この事業は、我孫子市高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成要綱に基づき、平成26年度においては1人2,000円、62件を助成いたしました。平成25年度の実績と比較して助成件数が大幅に減っているのがおわかりになると思いますが、これは平成26年10月1日から、高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンが予防接種法の改正により法定予防接種に位置づけられたため、これまで75歳以上の方への助成は後期高齢者医療特別会計から支出しておりましたが、法改正以降は一般会計からの支出、担当課でいいますと健康づくり支援課のほうに変更になっています。</p>
<p>社会福祉課</p>	<p>○孤立死防止対策について この事業は、孤立死が大きな社会問題になっている中で、市と市内のライフライン事業者や配送事業者、また福祉関係団体などが連携し、見つける・つなげる・見守るをキーワードとして、生活に困っている方を把握して、適切な支援につなげることにより、いわゆる生活困窮者が孤立死することを防止するとともに、生活困窮者の方が安心して生活できる環境を確保することを目的として、実施しております。</p> <p>関係機関としては、業務として個人宅を訪問することが多い、孤立死のおそれがあるという方を発見する可能性が高いライフライン事業者、東日本ガスさん、東京電力さん、かもめガスさん、コープみらいさん、千葉県LPガス協会さんですとか、また、配達サービス事業者としては、我孫子郵便局さん、我孫子市新聞販売店店主会さん、ヤクルト販売さん、各牛乳配達さん、あと佐川急便さんやヤマト運輸さん等が参加してくださっております。</p> <p>また、福祉関係団体としては、我孫子市の社会福祉協議会さん、民生委員・児童委員協議会さん、我孫子市高齢者なんでも相談室、障害者まちかど相談室などの機関に、孤立死防止対策協議会として加盟していただいております。</p>

<p>社会福祉課</p>	<p>また、平成26年12月には新たな参画団体として、コンビニエンスストア、具体的にはセブン-イレブン・ジャパンの市内各店舗と協定を締結し、事業の拡充を進めております。平成27年度に入っても協定を結ぶ事業者さんは増加しており、継続して事業の展開を進めております。</p> <p>これら関係機関と市の機関等で設置されております孤立死防止対策連絡協議会で、情報収集、啓発活動、支援計画の策定などを通し、計画的、効果的な事業の推進を図っております。</p> <p>また、我孫子市は平成25年度、26年度に、厚生労働省の社会福祉推進事業である、孤立死の実態把握のあり方に関する調査研究委員会主催の研究事業にモデル市として参加し、国とか各市との情報交換、連携を図っております。</p> <p>対象者の早期発見、早期対応、孤立死防止を目指すための孤立死防止対策ダイヤルについては、さらなる周知を図るため、啓発活動として平成26年2月にポスター250枚とチラシ6,500枚を作成し、公共機関ほか各自治会への配布、相談窓口や市内の主要駅等に設置いたしました。</p> <p>この孤立死防止対策ダイヤルにつきましては、平成25年度は相談受付件数が6件、うち2件は残念ながら亡くなっているところを発見する結果となりましたが、1件は社会福祉課のかかわりからすぐ対応することができ、2件は経済的に困窮していたことがわかり、生活保護受給につながりました。また、もう一件は自治会からの情報提供により、関係機関と連絡をとり合い、継続的に現在も見守り活動を実施中となっています。</p> <p>平成26年度は、相談受付件数が3件ございまして、こちらも残念ながら2件、対象者の方が亡くなられておりましたが、もう一件は迅速な状況確認から救急対応をとることができました。</p> <p>平成27年8月14日現在における相談受付件数は2件となっておりますが、連絡が入ると同時に庁内で情報確認を行い、既にかかわりのある方だったため適切な対応をとることができました。今後も関係機関と市の各福祉部局に限らず、市の各部局との連携を一層強化し、孤立死防止対策の推進を図ってまいります。</p>
<p>保育課</p>	<p>○病児・病後児保育事業</p> <p>この事業は保育園などの集団保育や家庭における保育が困難である、病気回復期に至らないが、当面病状の急変など認められないお子さんを病児、または病気回復期におけるお子さん（病後児）を、病児・病後児保育施設で一時的に預かる事業で実施しております。</p> <p>病児・病後児施設につきましては、平和台に1カ所と、名戸ヶ谷病院に1カ所の2カ所で実施しております。平和台病院につきましては延べ利用者数21人、名戸ヶ谷病院におかれましては延べ利用児童者数が319人となっております。平和台と名戸ヶ谷で利用人数に格差が出てしまっています。平和台はやはり病後児の児童をお預かりしているということで、どちらかというところ今よっと病後児、熱が7度ぐらい、7度5分以下であれば、保育園に預けてしまったりしている傾向がございます。そういったところも含めて利用の伸びがない状況です。また、平和台病院さんには現在小児科がないということで、ちょっと利用の伸びがないのかなといったところになっております。</p> <p>名戸ヶ谷病院さんにつきましては、病児も含めてやっております。名戸ヶ谷さんに関しては、25年度よりもやはり26年度のほうが利用人数が伸びてきておりますので、保護者の方も病児で利用される方の伸びが出てきている実績になっております。</p>

保育課	<p>○保育園施設整備計画の推進 この事業については、我孫子市の待機児童ゼロを維持するために、保育ニーズにあわせて保育園整備を進めている事業です。昨年度、26年度については、新たな整備は実施しておりません。ただ、25年度に天王台地区に、天王台さくら保育園を整備しまして、この26年4月から開園に至っております。あと1カ所、湖北保育園の大規模修繕については、26年3月に着手をしまして、事業としては25年度からの繰り越しになってしまったんですが、26年9月末で大規模改修が終了しております。根戸保育園についても、25年度中に建てかえが終了し、26年1月から新たな根戸保育園で、保育を実施しております。</p>
子ども相談課	<p>○発達に支援が必要な児童が利用できる通所サービスとして、児童通所支援があります。児童通所支援には児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援の4つのサービスがあります。 児童発達支援は、発達に支援が必要な未就学の児童が対象で、施設において日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練を行うものです。医療型児童発達支援は、施設において肢体不自由児に、児童発達支援及び治療を行うものです。放課後等児童デイサービスは、発達に支援が必要な就学している児童で、授業の終了後、または夏休み等の休業日に、施設において生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進等を行うものです。保育所等訪問支援は、保育所、幼稚園、小学校に通う発達に支援が必要な児童が対象で、発達支援を行う施設の職員が、保育所、幼稚園、学校等を訪問して、集団生活への適応のための専門的支援等を行うものです。障害者手帳の有無にかかわらず利用ができます。平成26年度は、市内放課後等デイサービス事業所が3カ所から5カ所にふえ、利用者も増加いたしました。</p> <p>○子どもの虐待防止対策への取り組み 子ども相談課内の子ども虐待防止対策室が中心となり、関係機関とのネットワークを強化していくため、我孫子市子ども虐待等防止対策地域協議会を設置し、代表者会議を年2回、実務者会議を毎月、個別支援会議を随時開催し、対応しています。新規の虐待相談の受付件数は、平成26年度は210件と、平成25年度の76件から大きく増加しました。これは警察等からの取り組み強化で、夫婦げんかも心理的虐待として、住基上での照会が増加したためによるものです。</p> <p>○子ども短期入所事業 保護者が病気や事故、育児疲れなどで一時的に子どもの養育が困難となる場合に、子どもを施設に預けることができるサービスです。松戸市にある児童養護施設、晴香園に事業委託しています。平成26年度は、宿泊、日帰り、夜間、利用を合わせて、延べ13人の方が18日間利用しています。</p>
子ども発達センター	<p>○巡回相談について 発達センターでは、特に巡回相談について力を入れております。近年、保育園、幼稚園では、発達が気になる児童が増加し、保育士さんが対応に苦慮しております。そこで定期的に各園を巡回し、その子どもへの接し方など対応について指導しております。</p>
子ども支援課	<p>○子ども医療費助成事業 平成25年度に助成対象を中学3年まで拡大した事業でございますが、平成26年度は受給券交付率99.2%、現物給付19万6,388件、3億2,581万9,055円、償還払いにつきましては3,236件、4,196万4,797円で実施いたしました。平成26年度につきましては、この助成制度が浸透しましたので、25年度に比べ償還払いの件数が減り、現物給付の件数が伸びております。</p>

子ども支援課	○子どもの居場所づくり 26年度につきましては、既存のあびっ子クラブの整備の充実を図るとともに、6校目として並木小、7校目として布佐南小に設置いたしました。また、平成26年度につきましては、我孫子市放課後子ども総合プラン行動計画を策定しまして、平成31年度までの整備計画を定めました。
吉武会長	どうもありがとうございました。 重点事業を中心にご説明をいただいておりますが、一応お手元のこの実績報告書全般に、ご説明いただいた事業以外でも結構ですので、ご質問、ご意見等がありましたら、ぜひお願いをしたいと思います。
小川委員	地域包括支援センターの充実、二次予防事業の中に、歯科のカムカムクラブは含まれているということよろしいですか。
高齢者支援課	そのとおりです。
小川委員	利用者が何人いたか、後日でよろしいですので、報告ください。よろしくお願いたします。
吉武会長	地域包括センターは、最初、本庁にてスタートし、現在は4カ所とのことですが、本庁では継続していますか。
高齢者支援課	そのとおりです。本庁が取りまとめの中心ということで、なんでも相談室を置き、市内4カ所に我孫子、天王台、湖北、布佐という形で配置しております。
吉武会長	将来的にはどうしたらいいかというような議論はされているのかどうかお伺いします。
高齢者支援課	国も指針を出しておりますが、各中学校区で地域包括ケアということであり、我孫子市では、中学校6カ所ですから、地域包括センターも6という数字が出るかと思えます。 現状を踏まえ、来期、7期、30年にはどういう体制にするかというのも、私たちの課題と認識しております。
田中委員	孤立死防止対策についてです。こういう事例は、これからふえてくるんだろうと思います。受付6件のうち4件が亡くなっていたというのはやっぱり問題と感じます。こういうところをどう対応していくかというのは大きな問題だと思いますが、いかかがでしょうか。
社会福祉課	件数については、孤立死防止ダイヤルに入った件数だけを今回ピックアップをしています。しかし、例えば単身で生活している高齢者の方が様子がおかしいということで、ケアマネジャーさんが気づいたりだとか、なんでも相談室の方が気づいたりということで介入をしている事例というのは、これ以外にもたくさんあります。その中でも、いろんなチャンネルがある中の1つとしてこのダイヤルがある。例えば社協であるとか、こういう異変があったときに、なんでも相談室に連絡しようというような連絡先を持っている方、例えば配送業者さんなんかで、そういう連絡先を持っていない、わからないという方がどこに連絡すればいいんだろうというところで、この事業に参加していただき、この孤立死防止ダイヤルにお電話をいただくことで迅速な対応ができるということを目的としております。  今後こういった見守りのネットワークの協定を締結していく事業者さんをふやしていくことで、見守りの発見の率を上げていくということと、あと、その後見つけて介入した後に、民生委員さんですとか、なんでも相談室さんですとか、そういったところと連携をしながら見守りの体制を構築し、今後、事業者さんとの連携を広げていく形を考えております。

今井委員	<p>精神障害者の方の就労支援についてです。 女性の方からのご意見がありました。最低賃金が発生する雇用のA型が男性のみの1つしか我孫子市にはないんです。B型は幾つかあるんですけども、やはり女性が働けるA型の作業所をつくっていただきたいという声がありました。検討していただけますでしょうか。</p>
障害福祉支援課	<p>市内にA型事業所が、現時点では2カ所ございます。どちらの事業所も特に対象の制限しておりませんので、男女とも通えることになっております。 また、新たに9月から、湖北台にA型事業所が株式会社等でできる予定です。今後、市のほうが施設整備するに当たって、民間事業所に参入を促すことはあると思います。最近では株式会社等が福祉事業に参入して、どんどん多くなってきております。</p> <p>市内のA型事業所には女性の方も通っております。近くの相談支援専門員または、市の障害福祉支援課までぜひご相談をいただければと思います。</p>
入野委員	<p>今のお話に関連して、将来的に考え、B型の施設に事業所を移したほうが良いという話があるんですが、大きな資本のあるところは大丈夫だと思うんですが、皆さんボランティアで好意でやっているようなところではなかなかできないということと、それから、土地も買い切れないというようなこともあり、B型に移るとき、支援の基準をちょっと考えてもらえるとありがたいということです。私が今住んでいるところにはB型に移りたいという事業所があります。</p> <p>それこそ精神も大丈夫ですし、知的の方も大丈夫ですので、そういう方たちが今、一生懸命地域と一緒に事業所を盛り立ててはいるんですけども、新しい基準の施設に移るためには莫大なお金が必要ということで、ぜひそこをうまくご相談に乗っていただけると、要するに皆さんで助け合う、そういう人たちも含め助け合うという社会が一步でも近づくかなという気になっております。なかなか現実的には大変厳しい部分があると思いますので、ぜひよろしくお願ひしたいなと思っています。</p> <p>それから、もう一点、民生委員といたしまして、高齢者の見守りと、それこそ、なんでも相談室ができたことで本当に地域の方も、それから民生委員も一緒に見守りができるということで、大変ありがたく思っています。大変細かいところまで本当によく対応していただいております。</p> <p>ただ、高齢者で独居の方の中には、周りが手を差し伸べたときに、なかなか受け入れていただけない方、そういうことが重なって、孤立死というのが出てくるんじゃないかなと思うぐらい、気になる方が大変多いと思います。</p> <p>それから、地域の方との交流を深めて、お隣の方が今どういう状態かわかるように、心の交流、触れ合いをしていかないと、行政だけで無理なことと思います。</p> <p>ですから、やはり、なんでも相談室や、民生委員、宅配の方、郵便局の方、そういう地域住民全てで見守っていかないといけない。</p> <p>ただ、中には絶対人と会わないとか、絶対人の言うことは聞かないとか、耳が遠くなってチャイムを押しても出てきてもらえない、そういう状態の中でこの孤立死を防ぐというのは、大変なことだということを、自分の見守りの中で非常に強く感じています。何かいい方法があったら、教えていただけたらと思っています。</p>

高齢者支援課	<p>お話に出ましたケースの難しい方につきましても、地域で行われているケア会議に担当の地区の民生委員さんにご出席いただくことがあり、一人一人のケースについて専門職も含めて、逐次の情報を確認しています。</p> <p>そこで、民生委員の方から生のお声をいただき、専門職が次へのサービスの提供等に役立てております。</p> <p>やはり一人一人の対応がまず一番かと思えます。特効策は非常に難しいですが、孤立死がない形で進められればと願って進めておりますので、今後ともご理解よろしくお願いたします。</p>
土井委員	<p>今の地域包括支援センターに関して、ご質問させていただきます。</p> <p>高齢者なんでも相談室で、相談受付件数が年間約2万件ぐらいありますが、相談内容について教えていただきたいということと、孤立死に関して、孤立死とは直接結びつかないケースもあろうかと思いますが、我孫子市の独居の認知症高齢者の方の数について教えていただきたい。</p>
高齢者支援課	<p>相談内容について、一番多いものは、健康、市の福祉サービス、一般的な日常の困り事、介護保険関係というくくりで、総合相談という形にしておりまして、これが約1万2,000件ぐらいです。次に、ケアマネジメント、いわゆる要支援者のプランの関係で、これが約5,000件。そして残りが安否確認、そして地域でのネットワークづくりに関する、こういった相談が2,500件。あとは、権利擁護、いわゆる虐待とか成年後見、または消費者問題の被害の相談が1,000件ぐらいです。</p> <p>また、認知症の方につきましては、私どものデータですと、3,000人ぐらいの方を把握しております。それが独居かどうか、申しわけございません、認知症の方という中では把握をしておりません。</p>
渡邊委員	<p>地域ケア体制の推進で、二次予防事業に関して、発注者数もふえて返送率も上がったと、そして二次予防事業の対象者数も増加したにもかかわらず、参加者の実数、それから延べ人数というのがかなり減っています。</p> <p>二次予防事業が、介護保険の考え方の中では要支援・要介護になる前に、二次予防を受けて悪化を予防するというような考え方に基づいて行っているものかと思いますが、減少についての原因であったりとか、今年度に向けて、増加に向け、26年度を踏まえての変更点とかというのは、今お考えになっているのでしょうか。</p>
高齢者支援課	<p>事業の効果を担当として毎年度評価をしておりますが、数が減っているのは、今までは半年とか長い期間やっていたんですが、それでも効果が出ていなかったという評価の上で、短いスパンで、本当に必要な方を絞ってという意味で対象者が少なくなっております。</p> <p>さらに、27年からは第6期介護保険事業計画に入りました。そして今、28年を目途として新しい総合事業のほうの移行ということ、二次予防も含めて、制度改正の間に入っており、この二次予防の効率的な効果が上がるようにどうするか考えております。</p> <p>講習をやってただそれだけで終わってしまう、単発で終わるとというのが、非常に感じているところです。できれば、家庭に戻ってからも、そこで学んだものをみずからの力で続けていただけるような、そういう予防ができればということで今、27年、28年、新たな予防施策として考えております。</p>
成嶋委員	<p>25年度の事業と26年度を比べると、グループホームに対しての支援の数が大分多くなっています。市のほうからの呼びかけによって、グループホーム、ケアホームを新設していただくということが本当にありがたいと思っております。</p> <p>ただ、まだまだ利用者の数に比べて、グループホームやケアホームが少ないと思いますので、今後も市から運営支援していただき、1施設でも多くできるよう協力していただければと思います。よろしくお願いたします。</p>

(2) 第5次健康福祉総合計画 平成27年度主要事業の取り組みについて

発言者	内 容
事務局	<p>資料2に沿って説明。 (主な要旨) 平成27年度の一般会計当初予算歳入・歳出の予算総額は、対前年度比で20億円増(5.5%増)の385億円となりました。 増額となった理由の中に、「子ども発達センターの施設整備」「私立保育園等施設整備への補助」があります。 我孫子市の27年度当初の収支概算見通しでは、市の歳入の柱となる市税については、2億2345万円増の174億1941万円となっています。 内訳としては、市民税が約8千万円増額する見込みとなったことに加え、固定資産税が、約9千万円の増額を見込んでいます。</p> <p>健康福祉部と子ども部が主に予算計上している民生費は、対前年度比8億4175万円(5.4%増)の162億9574万円となっています。 民生費は、年々増加する生活保護費が21億9816万円、児童手当の支給が20億3182万円、障害者介護給付費が14億7015万円と社会保障費全般が増加したことや、冒頭触れました「子ども発達センターの施設整備」「私立保育園等施設整備への補助」等によりまして、全体で162億9,574万円で、これは歳出全体の42.3%を占めています。 さらに、表の一番下、衛生費ですが、この中には「成人保健」、「特定健診、特定保健指導」などの予算が含まれておりますので、市の歳出の約半分が、福祉関連の予算ということになります。</p> <p>特別会計のうち健康福祉部で所管している会計は、 「国民健康保険事業」156億4700万円 「介護保険」87億7500万円 「後期高齢者医療」15億2000万円です。 合計で、259億4200万円となり、特別会計の総合計額298億5,200万円のうち、約87%を占めていることとなります。</p> <p>○平成27年度当初予算における健康福祉部、子ども部の主な事業 ・子育て交流フリーマーケット事業として、新たに「子育てフリーマーケット」を開催し、子育て団体や子育て中の親子の交流拡大を図ります。この事業は6月28日に実施いたしました。 ・産後ケア事業として、心身のケアや休養を要する産婦について、産後ケアセンターや医療機関に宿泊等していただき、母体ケア、乳児ケアを実施いたします。 ・婚活支援事業の拡大・充実として社会福祉協議会が実施している結婚相談支援事業について、10月からは、我孫子駅前のけやきプラザに相談所を設置し、事業の拡大を図ります。</p> <p>・私立保育園等施設整備への補助として、27年11月開園を目途に、天王台地区に小規模保育事業所を整備いたします。また、平成28年4月開園を目途に、我孫子地区に100人定員の私立保育園を整備します。 ・こども発達センターの施設整備として、こども発達センターが地域の中核的な療育支援施設として、児童発達支援センター事業を実施していく必要があることから、今年度、新たな施設を整備します。 ・都部新田に新設される障害者グループホームに対して、施設整備補助金を交付します。また、地域活動支援センターの法定移行を進めるにあたり、法定事業としての要件を満たすために必要な施設整備に対して補助金を交付します。</p>

事務局	<p>・一次予防事業の推進として、骨折や転倒などにより、要介護状態になることを予防するため、健康の維持・増進につながる市の事業や地域活動・ボランティア活動に活用できる地域情報などを掲載した冊子を作成します。</p> <p>・国民健康保険・後期高齢者医療の窓口業務等の委託として、窓口サービスの向上と業務の効率化を図るため、基本的な事務を民間事業所に委託して実施します。</p> <p>・老人福祉センター設備の改修事業として、今年度、老朽化に伴い、老人福祉センターつつじ荘の空調設備の一部改修を行うとともに、西部福祉センターの受水槽ポンプと風呂用ボイラーの一部改修を行います。</p> <p>・後見支援センター運営補助として、社会福祉協議会に後見支援センターを設置し、成年後見に関する相談や申し立てなどの事業を実施するにあたり、運営費の一部を補助いたします。</p> <p>・社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）への対応としまして、システムの導入や改修を実施します。来年1月からの利用開始に向け、各課において、その準備を進めます。以上、健康福祉部、子ども部における平成27年度に取り組む主な事業についての説明となります。</p>
吉武会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>平成27年の主な事業についてご説明いただきましたけれども、ご質問ございますでしょうか。</p>
古野委員	<p>今6人に1人の子どもが貧困であり、2人に1人の一人親の家庭の子どもが貧困と言われていて、国のほうで学習支援をするようにとあると思います。</p> <p>私たちは4年ぐらい前から、そういった子どもたちに学習支援していますが、子ども関係部門において、27年度は学習支援しないということですが、それ以降もしていかないのかお聞きします。</p>
事務局	<p>今年度4月からスタートしました生活困窮者自立支援法の中の基本的な事業ではありませんが、任意事業として国のほうでも進めている事業の一つに学習支援事業があります。</p> <p>我孫子市はどうするのか、今、実はどういった形の学習支援がこの地域として望まれるか、それと、居場所として家庭で学習する環境にないお子さんの部分も踏まえて考えていかなくちゃいけない。単純に行政が学習塾をやるのかというものじゃなくて、その辺は、行政だけが進めていくということではなく、民間で活躍されている方のお知恵も拝借しながら、来年度以降、学習支援事業として立ち上げられればと考えています。</p>
古野委員	<p>子ども関係の部署では、学習支援事業を行わないとお聞きしましたが、その辺がどうなのでしょう。</p> <p>また、東京のほうでは、社会福祉協議会も支援しているようです。ぜひ民生委員さんとか社会福祉協議会とか、いろいろなところで提携、協力しながら支援しないといけないんと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>その点についても、社会福祉課だけで担える部分というのは限られた部分もありますので、当然、教育委員会、子ども部、子ども支援課も踏まえて、どんな形が一番いいのか、これはスタートして、その形は変わってくると今の段階でも考えておまして、どういう形がいいのかという手探り状況にあります。近隣市も実はスタートはしているんですが、その状況も踏まえ、少しずつ検証する形で進められればと思っております。この事業は、当然、教育委員会、それから子ども部のほうとも連携しながら進めていきます。</p>

古野委員	<p>来年から要支援が地域のほうで見守っていかないといけないとなっていると思いますが、地域で活動している支援団体の方々に、細かい詳細が全然おぼろげなことで、随分不安を感じているという方が多いです。</p> <p>来年4月から始まるにもかかわらず、市民や活動団体に伝わってこないのでもっと早目にいろんなことを情報交換できたりとか、資料提供いただきたいと思っています。</p>
高齢者支援課	<p>現在介護給付の中の要支援として受けているものが、地域支援事業に入ると、契約等は変わってきますが、サービスの質には変わらないように今進めております。</p> <p>4月1日広報で、介護保険制度計画が変わりますという形でお知らせします。今1つ気になっていることは、ボランティア、団体の方に対して、28年4月に変わってすぐに何かができるのか、ボランティアの方がそのまま何かをやってもらおうとか、そういったものではないということです。</p> <p>今、そういったボランティアの方々の今後のことをどう考えていくか、これは国のほうでは29年3月までに、きっちり方向性をつくりなさいと言っているんですが、市では、現在そのボランティアの方とか、NPOの方々のそういった組織化を図れるような仕組みをつくっていかうということを進み始めている段階です。</p> <p>30年に新たな計画になりますので、この6期の計画期間中で考えていきますということで進めており、現在のところ、具体性はありません。</p> <p>ただ、サービスを受けている方には不安がないよう進めています。サービス事業者の方もご努力いただき、ケアマネ様からのご努力をいただいて、サービスを受けている方が4月から不安にならないような形では今、進めています。そして、来年度、制度が変わるときには個別対応の通知の実施についても進めております。</p>
吉武会長	<p>個別給付から地域利用に一部、来年度から変わります。予防給付のうちの一部が個別給付から地域利用に変わっていきますが、対象者に対しては影響は及ばないということですね。</p>
高齢者支援課	<p>現在受けている方に対しては、私ども、可能な限り不利益のないような移行を考えております。</p>
鈴木委員	<p>先ほど事務局から、福祉が予算の50%近くかかるというような話がございました。これは市の予算に限ると、26年度ですと360億ぐらいあります。その約半分といますから、相当な大きな金額だと思っています。</p> <p>この福祉関連事業について、今回の後期計画の実施計画書、253事業が出ております。全ての事業について、各セクションにて事業展開されていることに感謝いたします。</p> <p>ただ、市民ニーズが変わってくるということはあると思います。当然これは法的な改正によっても出てくると思います。そういった内容につきましては、市民の方々に分かりやすくPRする必要があると思います。</p> <p>特にこういった福祉関係の実績報告については、しっかりとPRをしていただきたいと思います。</p> <p>そのことに伴って、市民の方々から、また新たな面で、こういった事業展開しているのか、こういったところがちょっと足りないんじゃないか、弱いんじゃないかというご意見やご質問等、多々出てくるかと思っています。その中で市民の方々のかわり合いがまたできればいいんじゃないかなと思っています。</p> <p>どうぞよろしく申し上げます。</p>

<p>吉武会長</p>	<p>歳出の半分が民生、福祉、医療の分野になるというのは、多分、我孫子市だけではなく、日本全体の傾向だろうと思います。</p> <p>それから、市の収入を見ていただきますと、地方交付税がございます。地方交付税というのは、自治体全体の共通財源ですが、自治体の財政の力が弱いところほど、たくさんいただける制度です。</p> <p>これを見てもみますと、我孫子市は7.1%です。要するに、収入のうちの7.1%ということは、我孫子市は財政的には非常に豊かな地域で、それは間違いありません。</p> <p>それから、もう一つ、ここに出ていませんが公債費比率という、いわゆる借金です。借金の返済比率は、我孫子市は市の中では断トツに低いです。</p> <p>ある意味で、節度ある財政運営の結果がここに出ているだろうと思います。予算で見えていてですが、もちろん歳出はふえますし、借金もふえていくわけですが、その中では比較的我孫子市は、財政の状況はいい状況にあるということは間違いはないだろうと思います。</p> <p>それから、もう一つ私の感想を申し上げれば、非常にきめ細かくいろいろな事業をやっておられると思います。例えば孤独死みたいな問題についても新しい試みをやっておられる。</p> <p>孤独死、ドメスティックバイオレンス、それから児童虐待のような問題は必ずしも福祉だけの問題ではないですが、非常に現代的な日本の社会の非常にある意味で厳しい課題、マイナスの課題ですが、これは福祉とか社会福祉とか非常に密接な問題で、しかも解決が非常に難しい問題です</p> <p>また、孤独死問題で、いろいろなネットワークの構築をやり出しておられますから、このネットワークは別に孤独死だけで活用だけでなく、ぜひいろいろなところで流用すると良い。社会福祉協議会、民間、地域住民の力がつなげれば、なかなか支援を受けない障害者の問題にもつながっていく可能性はあるでしょうし、これも非常に難しいと思いますが、児童虐待の問題あるいはドメスティックバイオレンスの問題も可能性はある。ただ、それぞれの問題で専門性が違いますから、そこをよく考えながらやっていく必要があるのではないかと思います。</p>
<p>吉武会長</p>	<p>協議会としては、これで3年間の任期を終えるということになります。委員の方々には、お忙しいところをいつも出席をしていただき、ご忌憚のないご意見をいただきありがとうございました。また、引き続きご尽力いただく方もおられると思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。どうもありがとうございました。</p> <p>事務局 最後、事務局からよろしいでしょうか。</p>

事務局	<p>本日は、お忙しい中ありがとうございました。</p> <p>委員の皆さまからの貴重なご意見、ありがとうございました。</p> <p>今回、いただいたご意見を持ち帰りまして、再び検討を行いたいと思います。また、委員の皆さまの任期が、平成27年9月30日をもちまして満了となります。</p> <p>今後、健康福祉総合計画推進協議会は、各部門計画策定委員が一同に会し、各計画進捗状況の報告、健康福祉行政に対する意見交換する場へと移行いたします。</p> <p>このことに伴い、我孫子市健康福祉総合計画推進協議会設置要綱を一部改正し、10月からは、我孫子市介護保険市民会議委員、我孫子市自立支援協議会委員、我孫子市健康づくり推進協議会委員、我孫子市子ども・子育て会議委員から2名ずつ選出させていただき、健康福祉総合計画の進行管理をすることとなっております。</p> <p>委員の皆さまには長期間に渡りまして、第4次健康福祉総合計画の進行管理、また、第5次健康福祉総合計画の策定等、協議会の運営には、多大なるご協力いただきまして、ありがとうございました。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
吉武会長	<p>それでは、これを持ちまして、平成27年度第1回健康福祉総合計画推進協議会を閉会いたします。</p> <p>本日はお忙しい中ありがとうございました。</p>